

千葉大学医学部附属病院で胎児腹腔内臍帯静脈瘤と診断された患者の皆様、ご家族の皆様へ

2024年4月18日

産科

産科では、胎児腹腔内臍帯静脈瘤に関する後方視的観察研究を行っており、以下に示す方の診療情報等を、本文書の公開日以降に利用させていただきます。研究内容の詳細を知りたい方、研究に情報を利用して欲しくない方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

本文書の対象となる方

妊娠中に胎児腹腔内臍帯静脈瘤の診断を受け、2008年1月1日～2023年12月31日の間に当院で出産された方

1. 研究課題名

「胎児腹腔内臍帯静脈瘤に関する後方視的観察研究」

2. 研究期間

2024年承認日～2026年3月31日

この研究は、千葉大学医学部附属病院観察研究倫理審査委員会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。

3. 研究の目的・方法

胎児腹腔内臍帯静脈瘤は、胎内の臍帯静脈の一部が大きく拡張する稀な疾患です。胎児期や生後の血栓、門脈圧亢進症の原因となることがあり、子宮内胎児死亡とも関連がある可能性が言われています。現時点では、明確な管理指針が示されていないことから、当院での経験症例を分析することで、同疾患のよりよい管理方針を検討することを目的とします。

4. 研究に用いる情報の種類

診療録に記載されている病歴、超音波所見、妊娠分娩経過、出生後の児の所見等

5. 研究組織

【研究機関名及び本学の研究責任者名】

研究機関：千葉大学医学部附属病院

研究責任者：産科 助教 廣澤聡子

6. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して、厳重に管理します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で行われます。

本研究についてご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧する事ができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細については、千葉大学のホームページをご参照ください。

(URL : <http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html>)

7. 研究についての相談窓口について

研究に情報を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研究結果の発表前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口までお申し出ください。情報の利用をご了承いただけない場合でも不利益が生じる事はありません。

その他本研究に関するご質問、ご相談等は、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

相談窓口

〒260-8677

千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1

千葉大学医学部附属病院（病院長：大鳥 精司）

産科 助教 廣澤聡子

043（222）7171 内線6583